



野生動物の対策

村内の野生動物に関するお困りごとをご相談ください

☎ 林業振興室 ☎ 56-2174

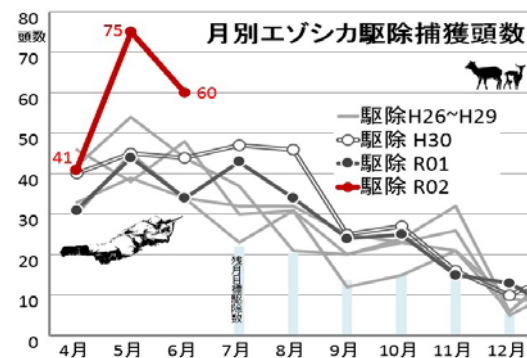


エゾシカ

盛夏の緑を背景に、橙色に白斑の夏毛が目に見え鮮やかです。6月頃に生まれたばかりの子ジカも、草と母乳で成長著しく、親ジカたちが食事に動かしむ間も駆けたり跳ねたり、元気な様子に心とみまします。

今年は牧草地へのシカ侵入頭数が多く、影響が心配されるなかで1番草の収穫が終わりました。6月には60頭を捕獲しています。7月中はデントコーン圃場の防衛に傾注していますが、草丈が伸び、捕獲作業は次第に困難になりつつあります。

新型コロナウイルスの影響で外食産業向けの出荷が停滞するシカ肉産業ですが、これを機に、シカ肉を村民家庭の食糧として改めて位置づけられないものか、関係者と検討を重ねています。原料供給の不安定さなど、事業化への困難は多々ありますが、6月下旬には上トマムの地域カフェ「ミナトマム」で、試験的なシカ肉小売りの催しが行われました。今後も引き続き、取り組みを進めてまいります。



ヒグマ

6月下旬以降、フキ、アリ採食を伴う夏型の出没が、局所集中的に発生しています。上トマム市街地では昨夏同様に1頭、トマムリゾートでは初見の1頭、字占冠の道道沿いでも1頭が絡んでいます。いずれも若く、人への警戒心が薄いようです。



リゾートのヒグマ
(中トマム7月上旬)

トマムリゾートの1頭は、威圧による強制退去を4回実施してもホテル近くに帰ってきたため、安全な営業環境が侵されかねないと判断し、対応を捕獲に切り換え、実施しました。施設スタッフの皆様にご協力いただきながら、事故を防ぎつつ追い払う努力を重ねてきただけに、心残りの結末でした。今回の経験、知見を活かして、対応技術の向上に努めてまいります。

このほか、上トマム青森団体線のアリ採食はまだ低調で、双珠別も昨夏と比べて静かです。

8月はアリの比重が高まり、より道路に接近してくると予想されます。中央、占冠地区のデントコーン畑付近では、侵入個体との遭遇に注意しましょう。



アライグマ

6月に一般従事者2名が各1頭、村直営で2頭の計4頭を捕獲でき、今年度の通算は5頭になりました。この勢いで励んでまいりたいと思います。



こちら駐在所です

☎ 占冠駐在所 ☎ 56-2110

アルコールは“少量”でも脳の機能を麻痺させる！

飲酒運転は、ビールや日本酒などの酒類やアルコールを含む飲食物を摂取し、アルコール分を体内に保有した状態で運転する行為です。

アルコールには麻痺(まひ)作用があり、脳の働きを麻痺させます。飲酒時には、安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断力などが低下している状態になります。具体的には、「気が大きくなり速度超過などの危険な運転をする」、「車間距離の判断を誤る」、「危険の察知が遅れる」など、飲酒運転は交通事故に結びつく危険性を高めます。

飲んだら乗るな！を徹底しましょう。

インターネットに潜む魔の手！

インターネットは便利な反面、相手の名前や顔がわからない分、恐ろしい犯罪や罠も潜んでいます。

SNS等の利用をきっかけとした誘拐や児童ポルノ等の犯罪被害が増えています。子どもを騙したり、脅迫するなどして裸の画像等を要求することは犯罪です。すぐに信頼できる大人に相談しましょう。



生涯学習の窓

教育・文化・スポーツのホットな情報をお届けします

☎ 教育委員会社会教育担当 ☎ 56-2183

村営プール開放中！

現在村営中央プール・トマムプールを開放しています。暑い夏を乗り切るため、また、運動不足解消にプールを利用してみませんか？皆さんのたくさんのご利用お待ちしております。

また、新型コロナウイルス感染症対策を実施しております。ご利用の際は以下の内容についてのご理解とご協力をお願いします。

- ・発熱、かぜ症状のある方はご利用をお控えください。
- ・遊泳中は他の人との距離を十分にとり、大声等を出さないようにしてください。
- ・利用の前に手指の消毒や検温にご協力をお願いします。
- ・密集を避けるため、更衣室への入室人数を制限させていただく場合があります。



【村営中央・トマム水泳プール】

- ・開放期間：8月下旬まで（予定）
- ・開放時間：13：00から17：00まで
- ※水温の低下等により予告なくクローズする場合があります
- ※幼児の利用は保護者同伴をお願いします
- ※利用の際は大人・子供を問わず水泳帽を着用してください



マリンスポーツ中の遊泳事故に気を付けよう

プールだけでは物足りないという方は、暑い夏に海に出かけることがあるかもしれません。そんな時に怖いのが遊泳中の事故。実は、北海道の過去5年間の遊泳事故の50%以上が10代や10歳未満の若い世代で起こっています。そして、事故の90%は海水浴場以外の場所で起こっているのです。海で遊ぶときは、小さいお子さんから目を離さず、万が一に備えてライフセーバーや監視員のいる海水浴場を利用するようにしましょう。



ルールを守って
楽しい夏を過ご
しましょう！

海で遊ぶときの注意点

- ・かならず準備体操を行い、身体を濡らしながら水に入りましょう。
- ・利用時間外（早朝、夜間）に遊泳しないようにしましょう。
- ・体調が悪いときや酒類を飲んだときの遊泳は控えましょう。
- ・幼児や児童には、必ず親等保護者が同伴しましょう。
- ・管理者によって区画された遊泳区域内で遊泳しましょう。（危険な場所や禁止区域での遊泳は絶対にしないでください。）
- ・遊泳区域を表示する標旗、うき等を移動したり、壊したりしないようにしましょう。
- ・離岸流（海岸に打ち寄せられた海水が沖に戻る強い流れ）に流されたら、あわてずに海岸と平行に泳ぎ、流れから離れましょう。

